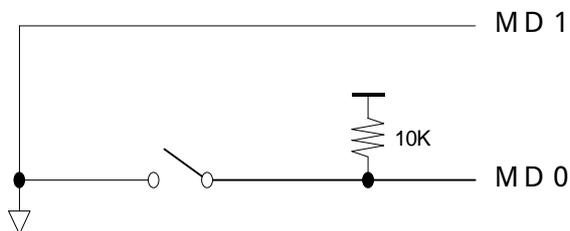


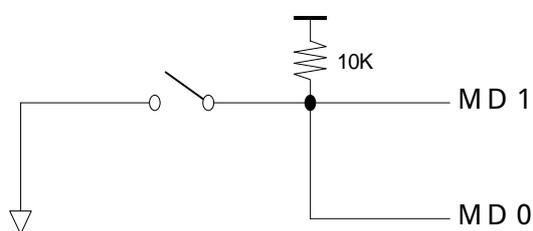
- ・ AH6000で利用できるモードは、モード5・6・7（内臓ROM有効）です。
- ・ MD2は上記回路のように、プルアップしてAH6000のNMIと接続します。

デバッグ機能を有効にするための各モードの接続例

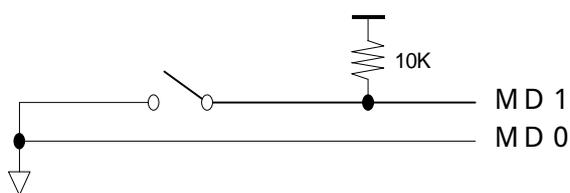
例 モード5（拡張モード [1 M]）で使用する場合



例 モード7（シングルチップモード）で使用する場合



例 モード6（拡張モード [16 M]）で使用する場合



H8/3048F-ONEのオンチップデバッグ機能を有効にするには、エミュレーションモードへ移行させる必要があります。
H8/3048F-ONEをエミュレーションモードへ移行させるために、MD1/MD0のHigh/Lowを切替えるスイッチが必要です。
なお、切替える頻度が多いため、強度なスイッチをお勧めします。

本回路は、あくまでもサンプル回路です。
実際の回路設計には、各ICのマニュアル・データブック等で、内容を充分ご確認ください。
本回路の使用に起因する不具合・損害に関して、弊社は一切の責任を負いません。